令和8年度
真津山小学校だより

輝け！まつやまっ子

まなびたい　つながりたい　やってみたい

令和8年11月2日（月）　学校教育目標　心豊かに　たくましく　自ら学ぶ子どもの育成　第１４号　文責：校長　真﨑　哲也

諫早市立真津山小学校
854-0063
諫早市貝津町715番地2

電話
26－1473（職員室）
26－1081（校長室）
26－1204（FAX）

電子メール
e-matsuyama@isahaya-snet.ed.jp

Web サイト
https://www.isahaya-snet.ed.jp/school/e-matsuyama/

真津山小 HP ぜひご覧ください！

〔年間生活重点目標〕

１年間徹底します！！！
①進んであいさつ・返事
②くん、さんづけ
③はさみ歩き

〈トピックニュース!!〉

～報恩式典表彰～

本年度表彰を受けられた方は、久山台にお住まいの中川　茂孝　様です

永年にわたり、子どもたちが遊ぶ公園や町内の緑地帯・法面の草刈り等、環境美化に取り組んでいただきました。あめでとうございます。今後も子ども達や地域のためにご尽力をよろしくお願いいたします。





ふるさとのために尽くす心を育む～報恩式典～



暦は１１月を迎え、長袖のシャツや厚手の上着を着こんで登校する子ども達が増えてきました。中にはポケットの中に手を入れている子もちらほら。しかしながら日中はまだまだ気温も上昇し、昼休みは元気いっぱい遊んでいます。

１年も半ばを過ぎ、それぞれ学年の学習は濃さを増し、次の学年につながる大切な内容が盛りだくさんです。１年生の国語では、長い文章の読み取りや自分の思いや考えを文章に表現することが多くなってきました。２年生では算数や数学の素地となる九九の学習が始まっています。秋の深まりと共に学習や友との関わりも深めたいものです。毎日の授業に目的と目標をもたせ、させられるのではなく自ら取り組む意識と態度を身に付けさせていきます。子どもは誰しもが壁にぶつかったり、失敗や過ちを繰り返したりしながら成長をしていきます。その時に私たち大人がどう関わっていくかが大切です。学校や家庭、地域がそれぞれの立場で、子どものつまずきを決して見逃すことなく、一人ひとりに熱い想いをもって関わってまいりましょう。



さて、先週２９日（木）に、地域の偉人である西岡丈吉様、西岡良七様のご遺徳を偲ぶ「報恩式典」を開催いたしました。６名のご遺族皆様、５０名を超えるご来賓の皆様と保護者の皆様にご臨席を賜り、今年度より全校児童一堂に会して執り行いました。お二人のご遺徳から、子ども達には、いただいたご恩を忘れず真津山小の子どもとして誇りをもって生きて欲しいこと、そして、恩を与えてもらうだけではなく、地域のために小さなことでいいから、できることを考えて行動して欲しいということを伝えました。お二人の「尊い志」を地域全体で育み、継承してまいりましょう！！

一人ひとりが全力でがんばりました！～市小体連～



２７日（火）台風による臨時休校明け、市内２６校より１２００名の６年生が集い、技を競い、友情を深める小体連体育大会が開催されました。短い練習期間でしたが子ども達は朝や体育、昼休みなど、時間を見つけて練習に取り組みました。記録も、態度も目標は自己ベストを目指すこと。一人ひとりが輝いていました！以下に入賞した子ども達を紹介します。表彰式を１３日（金）の全校集会にて行います。

【女子４×１００ｍリレー】　優勝　　【男子４×１００ｍリレー】　準優勝
柴原千夏、青山杏、柿森愛華、小林愛來　　酒井颯真、平田結凛、高時伍平、滝川麗旺
【女子走り高跳び】準優勝　池山すみれ【女子ソフトボール投げ】第３位　龍護千代子
【男子１００m決勝】第７位　山本健　第８位　北浦碧人
【１００ｍ走】
第１位　高尾美翔、宮崎和奏、染川愛一郎、松尾彪冴、藤屋一樹、一瀬心椰、岩永そら
並川愛莉、松尾沙奈、岩谷旭陽、大澤和、山口葵生、松本幸樹、一瀬陽奈、池田大翔
堤将貴、鈴木健生、喜井咲絢、木下栞那
第２位　田中望晴、西原杏南、松本彩加、中下晴樹、宮嵜一聡、田島まはな、中道蒼太
川崎菜生、井川陽依莉、西田菜桜、髙瀬実桜、岩松春翔、笹田悠陽、本村拓翔、中山翔真
染川暖弥、末吉祐大、森田真子、園田菜々海、下田埜乃
第３位　荒川陽葵、山口美乃莉、本田さくら、江﨑碧羽、鶴田健人、鶴田碧生、猿木莉瀬
藤田千佳、浦中悠惺、山川青登、百﨑遥花、永橋愛依、近藤悠真、山口惺、松尾吉平
三木悠翔、石原快弦

裏面へ

真津山小学校通学合宿
～28日～31日3泊4日～

28日に貝津公民館にて開講式が行われ、スタートしました。5，6年生有志16名がチャレンジしました。きっと自分を磨く3泊4日になったことでしょう。







読書から学ぶこと・・・



学校の教育活動の中で、重点を置いている一つが「読書」の推進です。学校では読書の年間冊数目標として、全校で６００００冊（低学年１２０冊、中学年１００冊、高学年８００冊）を掲げています。１１月２日現在、２１９２８冊です。

勿論、読書は学校図書館だけでなく家庭や地域でも行い、習慣化していくものです。学校の日課では、限られた時間でしか読書の時間を確保することができません。子ども達自身が時間を見つけて本を手に取る習慣を身に付けさせたいと思っています。

読書離れが進む昨今、求めたい様々な情報を携帯電話一台で完結できる便利な時代です。しかし、本を手に取り、活字に触れ、しっとりと過ごす時間は便利さとは価値観の違う貴重なものを得ることができます。

「語彙や表現力を豊かにする」「想像力を豊かにする」「心が落ち着き、安らぐ」・・・読書には多くの効果がありますが、私が思う**読書から得る一番のものは・・・・「やさしくなれる」**ということだと思います。なぜやさしくなれるのでしょうか。それは、本の中には自分とは住んでいる所も、考え方も違う人がいっぱい出てきます。いろいろな人の生い立ちや生活や環境、気持ちを知ることで、世の中には色々な人がいて、考え方もいっぱいあるのだと気づきます。**自分の考えが唯一ではなく、また正解ではないことを理解し、人の考えを尊重し、大切にできるようになる**のです。

読書をするには絶好の季節です。メディアからちょっと手を離し、目を離し、ご家族で一緒に絵本を見たり、それぞれが本を手に取ったりして、音のない静かな時間を過ごしてみてはいかがでしょうか。